

船舶事故調査報告書

平成29年9月21日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成29年3月3日 10時20分ごろ
発生場所	山口県長門市青海島北東岸 潮場ノ鼻灯台から真方位150°600m付近 (概位 北緯34°26.0′ 東経131°15.4′)
事故の概要	旅客船れいんぼうは、遊覧中、航行不能となり、浅瀬に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成29年3月3日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	旅客船 れいんぼう、8.5トン
船舶番号、船舶所有者等	291-37284山口、青海島観光汽船株式会社
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船底外板に小破口
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約1m
事故の経過	<p>本船は、青海島周辺の遊覧の目的で、船長が1人で乗り組み、旅客2人を乗せ、約10ノットの対地速力で、手動操舵により屏風岩に向けて同島北東岸沖を南東進していたところ、平成29年3月3日10時05分ごろ、機関が停止した。</p> <p>船長は、機関を再起動したが、クラッチを前後進に操作すると機関が停止するので、航行不能となったことを知り、無線で運航管理者と対応を協議した後、助言を受けて投錨の準備を始めたところ、船尾から波の打ち込みを受けたので投錨を断念し、旅客に状況を説明の上で救命胴衣を着用させて間もなく、10時20分屏風岩の浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>船長及び旅客は、近くの海岸に上陸した後、来援した船に救助された。</p> <p>本船は、4日クレーン台船に揚収され、造船所へ搬送された。</p> <p>本船が揚収された際、推進器翼に本船のものではないロープが絡まっているのが確認された。</p>
分析	本船は、遊覧中、推進器翼に浮遊していたロープが絡まったことから、航行不能となって圧流され、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、遊覧中、推進器翼に浮遊していたロープが絡まったため、航行不能となって圧流され、浅瀬に乗り揚げたものと考え

	られる。
--	------